

# 学校だより



平成28年8月29日

横浜市立二谷小学校  
校長 渡邊 文子

## ～防災について家族で話を～

学校長 渡邊文子

夏休みが終わりました。今年は連日の猛暑でしたが、皆様いかがお過ごしだったでしょうか。休み中に、町で二谷小の子どもたちに会いました。地域のお祭りで、友達と遊んだ帰り道で、外出した帰り道で…。それぞれに夏休みを楽しんでいる元気な笑顔を見るとほっとします。

今年はオリンピックの年。日本選手の活躍に、わくわくドキドキして夏休みを過ごした子どもたくさんいることでしょう。選手たちの姿や言葉は本当に多くの感動を与えてくれました。獲得したメダルが話題になりますが、私は、初めて知った種目があったり、参加206か国と聞き、世界にはこんなにたくさんの国、知らない国があるのだということも改めて実感したりしました。様々な事情から選手団を送ることができなかつた国もあります。争いの中で、平和を求めてやまない人々がいることも思い出させてくれました。オリンピックは見方によって様々な気付きを与えてくれます。子どもたちは、どのようなことが心に残ったか話を聞いてみたいものです。

さて、9月1日は防災の日です。関東大震災から今年は93年になります。東日本大震災や熊本地震では、自然災害の恐ろしさを強く感じさせられました。日頃からの備えが大切と分かっているにもかかわらず、なかなか備蓄等の準備ができていないという声を聞きます。私も、備蓄用の水缶詰の賞味期限が切れていることに慌てたという経験があるので、備え万全とは胸を張れません。

7月に4年生が神奈川消防署のご協力防災教室を行いました。学校では日頃から避難訓練を行っていますが、学校以外の場所で大人のいない時に、「自分の身を自分で守る」力をつけることも大事なことです。そこで、森田署長、河原予防課長にお話をしていただき、家で一人である時に地震が起きたらという想定で学習をしました。室内のどこが安全か、外に逃げたほうがよいか、子どもたちはよく考えていました。ご家庭でも、災害に備えて準備や避難方法等について話し合うことがあると思います。通信手段が使用できなくなることを想定して、避難場所や連絡方法について確認しておくことも大切だと言われています。防災の日をきっかけにして、ぜひご家族で防災や減災についてお話をしてみたいはいかがでしょうか。

学校では、今年度より引き取りの方法を変えて、災害時にお子様を保護者の皆様により確実にスムーズにお渡しできるようにしました。避難訓練の行い方も含めて、今後も見直し、改善を図る予定です。

今日から始まる学校生活。しばらくは暑い日々が続きそうですが、生活リズムを整えて元気に登校してほしいと思います。



夏休みのひまわり